

第 12 回（平成 29 年度第 1 回）CPD 運営委員会議事録

日時：平成 29 年 5 月 18 日（木）15:00 ～ 17:00

場所：森戸記念館 2 階 第 3 会議室

出席者：（順不同、敬称略）

広崎膨太郎会長、横内貴志男委員、尾崎章委員、小澤郁夫委員、山脇寿氏
（渡邊誠委員代理）、日本工学会事務局島田敏男氏

議題：

1. 前回議事録の確認について
2. CPD プログラム委員会報告
3. ECE プログラム委員会/幹事会報告
4. 広報活動報告
5. H29 年度春季 CPD 公開シンポジウム準備状況
6. 今後の活動について
7. その他

配布資料：

(*）日本工学会 CPD 協議会役員・委員、各委員会名簿（平成 29 年 5 月 18 日現在）

- 1: 第 11 回（平成 28 年度第 5 回）CPD 運営委員会議事録（案）（H29.2.23）
- 2: 平成 29 年第 1 回（第 55 回）CPD プログラム委員会議事録（案）（H29.4.26）
- 3-1: 第 7 回 ECE プログラム委員会議事録（案）（H29.4.4）
- 3-2: 第 39 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録（案）（H29.3.23）
- 4-1: 第 4 回 CPD 協議会広報委員会会議メモ（H29.3.28）
- 4-2: CPD 質問ページの追加について
- 5-1: 平成 29 年度第 1 回（春季）CPD 協議会公開シンポジウム
- 5-2: IRIS ホームページ
- 5-3: イリス・ヴィーツォレック氏経歴
- 6: 平成 29 年度 CPD 協議会全体会議議案（案）
- 7: 平成 28 年度第 2 回 CPD 協議会全体会議議事録（案）
- 8: 平成 28 年度事業報告・決算
- 9: 平成 29 年度事業計画・予算
- 10: CPD 協議会新会長候補者について（案）
- 11: 【参考】CPD 協議会規程

議事：

1. 前回議事録確認

石原幹事が所用により欠席のため、広崎委員長より資料 1) に沿って H29 年 2 月 23 日 (木) 開催の第 11 回 (平成 28 年度第 5 回) CPD 運営委員会議事録 (案) の説明があり、一部マイナーな誤字修正のうえ、特に問題なく内容を確認した。

2. CPD プログラム委員会報告

尾崎幹事より資料 2) 平成 29 年第 1 回 (第 55 回) CPD プログラム委員会議事録 (案) を使って CPD プログラム委員会の活動報告が行われた。特に今回は、昨年 11 月 30 日開催の平成 28 年度第 2 回 CPD 協議会全体会議の決議に基づき委員会メンバーが大幅に拡充された状態での初会合となり、活発な提案、意見交換がなされたとのこと。以下に主な論点をまとめる。

・技術者としては自己学習の PDCA を回すことが大切で、それを学会が社会への説明責任として支援する必要がある。電気学会では技術者が所属している組織に CPD を評価してもらえよう、幹部への手紙を準備中である。他学会からも同様なアクションをとれないか。また日本工学会としての後押しも必要ではないか。

・CPD の価値を高めるために資格との関連付けを工夫する必要がある。技術士会では技術士資格を保持しているだけではメリットを感じられない人もおり、CPD により資格の価値が高められないか、更新との関係など、議論している。情報処理学会では資格制度と CPD とを関連付けている。

・近年の技術多様化の中で、企業内教育のみならず学協会からも幅広い技術習得機会の提供が求められる。ターボ機械協会では、周辺技術も取り込んで 18 の CPD 講座を作ったとのこと。

・教育内容の責任は各学協会にあるが、日本工学会のサイトでは横並びで全て見る事が出来るようにしてはどうか (現在、ある程度は整備されている)。

上記の報告に対し、CPD 協議会会員学協会の所属会員であれば、他学協会の CPD プログラムをその学協会の正会員と同等な資格で受講できるように体制整備をするのも一案ではないかとのコメントがあった。

以上の議論、および、これまでの CPD プログラム委員会での議論を課題別に整理して、今後の CPD プログラム委員会での検討項目としてまとめあげるべきことを申し合わせた。

3. ECE プログラム委員会/幹事会報告

奥津幹事欠席のため、広崎委員長より、資料 3-1) 第 7 回 ECE プログラム委員会議事録(案)(H29.4.4)、および、資料 3-2) 第 39 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録(案)(H29.3.23 に基づき ECE プログラム関係の活動報告がなされた。このうち、NIMS イブニングセミナーについては渡辺委員代理の山脇氏から詳細説明がなされた。主たる報告事項は以下の通り。

- ・昨年度の二つの ECE プログラムは順調に進行している。NIMS 主催の“物質材料基礎 ECE プログラム”は参加者の満足度も高く、文科省の女性研究者研究活動支援事業との連携も好評で本年 3 月 10 日をもって完了した。ECE プログラム修了証授与候補者は 3 名であった。計測自動制御学会主催の“SICE プロセス新塾”も昨年度は安全問題への技術対応を 4 講座強化し好評裏に運営され、例年以上に優秀な塾生が育っている。8 割の目標達成度を満たした 29 名を ECE プログラム修了証授与候補者とした。

- ・新たな ECE プログラムの企画状況につき 2 件報告がなされた。一件目は NEDO と産総研の共同で企画中の AI に関する新 ECE プログラム開発であり、2 月 23 日、24 日に産総研つくばにて「IOT に関する高度技術者プログラム」試行を座学 4 コマ、実習一回でスタートした。予定募集者満席(実習 3 名、講習 20 名)での実施となった。2017 年度は座学コマ数を 10 程度に増やしプログラムとして完成させ、2018 年度 ECE プログラム認可にこぎつける予定。

二件目は現場技術者のハード設計能力強化に向けたエレクトロニクス関係ハード技術者育成コースに関するものであるが、現在議論がやや停滞していることもあり、次回の ECE 幹事会に広崎委員長から具体案の提示を試みたいとの提案があった。

4. 広報活動報告

資料 4-1) CPD 協議会広報委員会会議メモ(H29.3.28)、および資料 4-2) CPD 質問ページの追加について、を用いて広崎委員長および事務局の島田氏より報告がなされた。

- ・各学協会の広報雑誌に、CPD 協議会概要解説を広告の狙いで掲載して頂く予定にしており、そのための広報用パンフ原稿の作成を検討中であるが、現在、作業が遅れている。

- ・本年 3 月 21 日の日刊工業新聞「バルブの日」特集記事に、CPD アピール記事を兼ねた、広崎 vs 奥津対談が 2 面に亘り掲載された。本記事を CPD 協議会ホームページにアップロードできないか、現在、日刊工業新聞社と交渉中。

- ・HP コンテンツの充実化に向けたアイデアとして、HP の会員用 Box を改良して閲覧者からのコメントフィードバックの仕掛けを準備する案が検討されており、他学会で

の対応事例を参考にしながら積極的に推進することとした。

・CPDプログラム委員会から報告された“CPDプログラムの目的”の文案は既にHPに掲載されている。さらに、“CPDプログラム活動事例”の見出しを新設して今後の各学協会からのCPD活動ベストプラクティス掲載の基盤を整えた。

5. 平成29年度春季CPD公開シンポジウムについて

広崎委員長より資料(5-1)、(5-2)、(5-3)を用いてシンポジウムの準備状況が説明された。本年度のテーマ案については、特に委員からの提案が無かったため、原案通り“産業新時代を支える技術者と人材育成”として正式な案内を開始することにした。また事例発表のうち、NIMSのECEプログラム発表では、過去10年程度のイブニングセミナーの実績をベースに重点課題の推移などマクロな視点から発表して頂くことで了承された。

なお、広報関係で報告されたように、HPのCPDプログラム委員会関係の欄に“CPDプログラム活動事例”のバナーが設定されたことにより、今回のシンポジウムにおけるCPD活動事例発表について活動事例の欄に適宜掲載することを申し合わせた。

6. 今後の活動について

広崎委員長より、資料(6)、(7)、(8)、(9)に基づいて6月7日開催予定の平成29年度CPD協議会全体会議の議題案が説明された。決算書および予算書は6月2日の日本工学会社員総会に提出される原案に準ずる予定。

また、6月2日の社員総会で広崎副会長が退任するが、CPD協議会会長は、規程により6月7日のCPD協議会全体会議で新たな日本工学会副会長が新会長候補として紹介・討議され、直近の日本工学会理事会で承認をうける手筈となる。

7. 次回会議について

次回の運営委員会の開催予定時期は8月となるが、具体的な日程については、新会長と石原幹事との間で協議し運営委員に連絡されるものとする。

以上